

静岡市 環境保健研究所移転改築

23年度着工へ 予算要求準備

静岡市は、環境保健研究所の移転改築計画に伴う基本実施設計が完了した。現在進めている発掘調査の結果を注視しながら、2023年度の工事着手に向けて予算要求などの準備を進める。工事は継続費で23、24年度の2カ年で整備する。

事業は、築後約60年が経過した現施設の老朽化が顕著で、さらに施設も狭あいであるため、駿河



環境保健研究所の完成イメージパース

区の由金気象台東側隣地に確保した市有地(敷地面積約3000平方メートル)に移転する。

このほど、内藤建築事務所(京都市左京区)が進めてきた基本実施設計が完了した。また、23年11月までの納期で委託している埋蔵文化財調査も、現地の発掘を年内に終了する予定。発掘調査が完了する際には工事への影響なども判断できる状況となりそうだ。

長池川で浸水対策

島田市 基本設計に着手

島田市は、長池川の浸水対策のための基本設計に着手した。2022年度内に完了させ、順調に進めば23年度に詳細設計を行う意向でいる。

阪本地内では大雨などで事業費が確保できない。22年度中にも一部工事を発注したい意向でいる。

島田市は、長池川周辺の浸水対策のための基本設計に着手した。2022年度内に完了させ、順調に進めば23年度に詳細設計を行う意向でいる。

現在でも休日には種々のイベントなどが企画されるが、平日開催、交通体系の在り方なども含めた実験を行う。

静岡市は、静岡都心地区まちなか再生で、秋ごろに青葉シンボルロードで社会実験を行うため地域のまちなか再生

麻機遊水地 周囲堤に盛土

1、2工区で測量設計開始

静岡土木

静岡県静岡土木事務所は、麻機遊水地(静岡市葵区)河川改良に伴う測量設計として、第1、第2工区周囲堤などの測量設計に着手した。

対象は、第1、第2工区の周囲堤など。延長は第1工区が約810メートル、第2工区の立石エリアが延長約1.2キロ、安東工

リアが約1.8キロ。地盤沈下箇所を把握し、異常がない箇所では天端部舗装のための測量・設計、沈下箇所では沈下が治まっている箇所では築堤・舗装のための測量・設計を行う。



麻機遊水地の周囲堤

測量設計は昭和設計(静岡市葵区)が担当し、23年3月末納期で進めている。

静岡市は、静岡都心地区まちなか再生で、秋ごろに青葉シンボルロードで社会実験を行うため地域のまちなか再生

まちなか再生へ社会実験

静岡市 青葉シンボルロード

現在、計量計画研究所(東京都新宿区)で再生指針策定へ向けた推進業務を進めており、この中では今回の社会実験や都市計画道路静岡駅西線線の道路空間の活用検討なども進めている。

静岡市は、静岡都心地区まちなか再生で、秋ごろに青葉シンボルロードで社会実験を行うため地域のまちなか再生

静岡市は、静岡都心地区まちなか再生で、秋ごろに青葉シンボルロードで社会実験を行うため地域のまちなか再生



加し、朝からごみ拾いに励んだ。担当者は「近隣で工事を行う際、日頃から多くの協力をしてもらっている。清掃などを実施することで、少しでも地域の役に立ちたい」と話し、今後も地域に貢献していきたい意向を示した。



高橋建設(静岡市清水区、高橋博社長)は15日、「静岡市道路サポーター」活動として美化活動を行った。

静岡市は、静岡都心地区まちなか再生事業は、JR静岡駅周辺ゾーンを対象とし、4カ年をかけて官民が共有できるまちなか再生の指針を構築、持続可能な「まちなか再生」を実現しようとするもの。

静岡市は、静岡都心地区まちなか再生事業は、JR静岡駅周辺ゾーンを対象とし、4カ年をかけて官民が共有できるまちなか再生の指針を構築、持続可能な「まちなか再生」を実現しようとするもの。

静岡市は、静岡都心地区まちなか再生事業は、JR静岡駅周辺ゾーンを対象とし、4カ年をかけて官民が共有できるまちなか再生の指針を構築、持続可能な「まちなか再生」を実現しようとするもの。

地域貢献

森下公園周辺 清掃活動行う

熊谷組静岡営業所(静岡市清水区、中村俊一社長)は、地域貢献活動の一環として静岡市内で清掃活動を行った。当日は、森下公園周辺の他、近隣小学校通学路などについて、ごみ拾いや清掃を行った。同社では毎年定期的に清掃活動しており今回46回目となる。同社担当者は「これからも清掃活動を行うことで地域の方がより快適に利用できる公園を守っていききたい」とした。

断水中の市民に 飲料水を提供

9月下旬に発生した台風15号の影響で一時断水した静岡市清水区において、水道工業者2社が自社にサーバー型逆浸透膜浄水器を設置し、地域住民に飲料水を無償提供した。実施したのは山武設備

いずれも村松商店(浜松市東区、村松博代社長)が取り扱う、災害時には井戸水や川の水を飲料水にすることができないサーバー型逆浸透膜浄水器「MS PURE」の提供(一部自社所有)を受け、断水発生後の9月24日午後には市民に提供を開始した。SNSなどで活用を呼び掛けた結果、断水に困っていた多くの市民が飲料水を利用。25日には浄水器を増設し対応した。

御前崎港西埠頭 25人で清掃活動

橋本組(焼津市、橋本真典社長)が、御前崎港西埠頭(ふところ)で清掃活動を実施した。写真。同社社員ら約25人が参

御前崎港西埠頭(ふところ)で清掃活動を実施した。写真。同社社員ら約25人が参